

| | | | | | |
|-----------|--|--|-----|----|----|
| 科目名 | 国際経済学 | 単位数 | 2単位 | 学期 | 前期 |
| 担当教員 | 中尾 将人 | 実務経験の有無 | | × | |
| 科目区分 | カリキュラムマップを表示する | 関連するディプロマポリシー | | | |
| ナンバリング | X-01-A-1-210008 | 国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体の問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること | | | |
| 授業の目的 | 為替レートの決定理論や企業財務における外国為替のやり取り、国際経済の歴史を学ぶことで、実社会でも役立つ知識を得ることが本講義の目的である。 | | | | |
| 学修到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国為替のしくみを説明できる。 ・為替レートの決まり方について説明できる。 ・国際経済の歴史を踏まえて、経済危機への対策を考察できる。 | | | | |
| 実務経験との関連性 | | | | | |

| 授業計画 | |
|------|-------------|
| 第1回 | 為替レートと経済活動 |
| 第2回 | 外国為替市場と為替制度 |
| 第3回 | 購買力平価 |

| | |
|------|----------------------|
| 第4回 | 金利平価 |
| 第5回 | マネタリー・モデル |
| 第6回 | 効率的市場とマイクロストラクチャー |
| 第7回 | 為替介入 |
| 第8回 | 国際財務活動 |
| 第9回 | アジア通貨危機と世界金融危機 |
| 第10回 | グローバル・インバランス |
| 第11回 | アジア通貨システムの改革と人民元の国際化 |
| 第12回 | EU経済 |
| 第13回 | EUの単一市場 |

| | |
|------|------------|
| 第14回 | ユーロ危機 |
| 第15回 | ユーロ危機への対応策 |
| 第16回 | |

| 授業時間外の学習 | |
|-----------|-----------------------------|
| 【予習】時間・内容 | 2時間 講義回の内容に関するテキストを読む。 |
| 【復習】時間・内容 | 2時間 講義資料を読み返す。復習資料を活用する。 |

| 成績評価 | |
|-----------|--------------------------|
| 評価基準・方法 | 小テスト 25点×4回で評価する。 |
| フィードバック方法 | 小テストについては講義中にフィードバックを行う。 |

| アクティブラーニング | |
|------------|---|
| 実施の有無 | × |
| 実施内容 | |
| 教科書/参考書 | <p>教科書は特に指定しない。 ただし、以下の参考書をベースとして講義を行う。</p> <p>[1] 永易淳・江阪太郎・吉田裕司『はじめて学ぶ国際金融論』有斐閣ストゥディア [2] 中条誠一『現代の国際金融を学ぶ』勁草書房 [3] 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治『現代ヨーロッパ経済』有斐閣アルマ [4] 橋本優子・小川英治・熊本方雄『国際金融論をつかむ』有斐閣</p> |
| 受講上の留意点等 | <ul style="list-style-type: none"> ・日々の国際経済情勢に関して、新聞等を通じて目を通しておくこと。 ・指定された時間以外の講義中のスマートフォンの使用を禁止する。 ・講義中は私語厳禁。 |
| JABEE | |